

# そよかぜ

題字 小野倉藏

なかべ学院  
 中部少年学院後援会  
 〒750-0081  
 山口県下関市彦島角倉町  
 3丁目6番17号  
 TEL (083)266-1934  
 発行 広報部  
 印刷  
 (株)ナカハラプリンテックス  
 TEL (083)266-4601



**乳児院が新しくなりました。**  
 中部少年学院理事長 石川 啓

乳児院なかべ学院は、家庭的で心の通い合う環境づくりを目指して生まれ変わりました。

新しい院舎は、一部二階建て木造平屋づくりで、三棟のユニットに六つのホームで構成されています。三棟のユニットは、いずれも木の香りがやさしく、大きく開かれた窓から陽光が差し込み、明るく温かく子どもたちにとつてうれしい環境になりました。三棟のユニットは、子どもたちが光り輝き、大きな夢に邁進できることを願って「光・輝・夢」と名づけました。また、六つのホームでは、子どもたちに馴染の深い花々に思いを寄せて命名し、一人ひとりに向き合っておりを育む家庭的な養育を実践いたします。

少子高齢化が進み共生社会の創生が叫ばれています。新院舎には地域交流室を設けました。地域の皆様には積極的に御利用いただき、地域と共に歩む乳児院・子育てセンターを目指してまいります。

併設する、子ども家庭支援センター紙風船は、従来の活動に加えて、「こども家庭支援の拠点」としての活動を拡げることになりました。保育士・心理士・精神保健福祉士などの専門職を配置して、子育てに困難を感じている家庭の支援や、児童虐待を未然に防止する活動に努めてまいります。

新院舎の建設を契機として、乳児院なかべ学院は、併設することも家庭支援センター紙風船と共に、下関市における子育て支援の中核的な役割を担っていくことを願っています。

皆様方の御支援をお願いいたします。



下関市長 前田 晋太郎

このたびは乳児院なかべ学院の新院舎竣工、誠におめでとうございます。県内唯一の乳児院であり、下関市のみならず県内他市からも多くの利用がある本施設の移転新築につきましては、多くの期待が寄せられており、心よりお慶び申し上げます。

また、乳児院なかべ学院の皆様方には、児童家庭支援センター「紙風船」の運営をはじめ、子ども子育て支援の各種事業において多大なご協力を頂いており、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

さて、新院舎は木の香り漂う平屋造りの建物を中心とし、内部はユニット方式を採用されると伺っております。ここで生活する子どもたちが、これまで以上に家庭的な優しい雰囲気の中で過ごすことができるようになるものと期待しています。

また、移転先の川中地区は、交通の便も良く、子育て世代の多い地域です。訪問支援等については、市内全域へのアクセスがしやすくなり、より多くの市民の方への援助が可能になるとともに、親しみやすく地域に開かれた施設として、多くの方々に足を運んでいただけるものと思います。

昨今のニュースを見ますと少子化の流れとは関係なく、子どもに関する様々な問題が起きています。子育て支援の制度はまだまだ発展途上であり、今、地域が一体となった子ども子育て家庭への支援が求められています。私たち行政も、地域の方々をはじめ、関係の皆様と連携して、子どもたち、そしてその保護者の方々への支援をさらに推進していきたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、社会福祉法人中部少年学院の益々のご発展と、皆様のご健勝ご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 新院舎竣工によせて



山口県議会議員  
社会福祉法人中部少年学院後援会 会長

友田 たもつ

乳児院なかべ学院新院舎が、新しく建設されましたことに心よりお喜びを申し上げます。

彦島の地より新たに下関市古屋町の地、旧山口県立下関総合支援学校下関分校グラウンド跡地に、山口県に唯一存在する、児童家庭支援センターが併設された乳児院として、新設されましたことにあらためてお祝いを申し上げます。

昭和二十一年に少年保護団体として始まった中部少年学院は、長い間、彦島の地ではぐくまれてまいりました。昭和二十八年四月乳児院の認可を受けて児童支援の施設として山口県内での大きな拠点として活躍されてきましたことに深く敬意を表する次第であります。

近年、乳児・児童支援の問題は、大きく取り上げられており、家庭内暴力による子供の死亡事件など目を覆いたくなる様な悲惨な家庭内虐待の問題が大きくマスコミに取り上げられております。

しかしながら社会および生活形態の多様化など児童を取り巻く環境は混乱を極めているのが実状です。そのような環境の中、当学院の児童の健全な発達をお手伝いする支援の内容は多岐に亘って充実しており、つくづく感心している次第です。

山口県でも児童相談所を中心に児童支援のお手伝いをしてありますが、件数の多さや、多様化する問題の複雑さにバンク寸前の様相を呈しています。そのような中、社会福祉法人中部少年学院のような民間支援施設の充実が山口県にとっても最も必要な存在であるといっても過言ではないと思っております。

多くの皆様方のご支援をいただき、新たな児童支援の拠点が整備されました。

このことを機会にさらなる乳児・児童支援の充実が図られますことを願っております。

最後になりますがこれからの、なかべ学院のご活躍を心よりお祈りして、あいさつとさせていただきます。



「よりそって温かく」

乳児院長 竹川 智子

乳児院なかへ学院は、児童家庭支援センター「紙風船」とともに下関市彦島角倉町から、約十キロ北の同市古屋町へ、新築移転致しました。新院舎竣工のために、ご支援、ご協力を賜りました国・県を始め、後援会並びに関係者すべての皆様に厚く御礼申し上げます。

創設者小野倉藏先生が、戦後角倉町に施設を開設され七十年の月日が流れ、乳児院は建物の老朽化と耐震化の問題、また、子どもの権利を重視した児童福祉法の改正がなされ、国は社会的養護が必ずや子どもたちに、まず在宅の可能性…里親…へと大きく舵をとり、入所施設は大舎から小舎へ、そして地域分散化と養育単位を縮小し、家庭的な養育環境を整えるよう指導がなされました。

新院舎への移転を子どもたちは「チャーチャン(養育者)ピカピカ」「アタラシイ イッショ」と喜びを片言で話します。より家庭的でのびのび生き生きとした養育を進めるために、木造二階建ての建物に四〜六人、六グループのオールユニット化となりそれぞれに独立した玄関・養育室・寝室・新生児室・台所等一般家庭同様の生活空間となっています。保育士・看護師・児童指導員・心理士・栄養士等の専門性を生かしながら、新生児から概ね三歳児までのこどもたちの育ちを、「生まれてきてよかつたね」と思えるよう温かく向かい合い、その子らの家庭とも向き合い寄り添っていききたいと思えます。

また、地域の方々に気軽に利用して頂き、地域に根差したセンターを目指して「地域交流室」をつくりました。少し固い名前なので愛称も考えていきたいと思います。また、「紙風船」とともに老若男女多くの皆様と親しく触れあえたらと願っています。

これからの乳児院は、お預かりしたお子様を養育するだけでなく、持っている子育てノウハウを地域の子育て支援に生かすよう求められています。

【寄附・寄贈(乳児院新院舎寄附も含む)】(順不同 敬称略) たくさんの方々の皆様のご支援に心から感謝申し上げます

平成30年10月〜平成31年3月

◎団体

- 公益財団法人中部財団
- (株)サントー
- よしとみクリニク
- かねはら小児科
- まさき小児科
- 日通下関運輸(株)
- (株)銘建ホールディング
- 大留蒲鉾(株)
- 福浦薬局
- 下関児童相談所職員同
- レンジンドチャリティー
- コンサート実行委員会
- 下関市職員有志同
- (株)大明工業
- みもすそ川別館
- オペラユニット、ザレジ
- エント
- セブイレブン彦島福
- 浦口店
- 古谷建工(株)
- (株)尾設計
- 日本食品(株)
- 夢現の会
- カネティーナラガツア
- 医療法人社団真至会
- 王司こどもクリニック
- (株)ナカハラプリンテックス
- 彦島地区第二民生委
- 員協議会同
- 青葉こどもクリニック
- 田淵建材(株)
- 関門港湾建設(株)
- 乳児院職員同
- あしながおばさん
- 大永商事(株)
- 国広モーターズ
- 赤間神宮
- 医療法人社団山口整
- 形外科
- (有)魚工房鮮福
- (有)トリエ心
- 山口県信用農業協同
- 組合連合会J&Aバンク
- 推進部
- 亀山八幡宮

◎個人

- 唐戸水産物協同組合
- 活いき馬関街
- 下関そま生産者直売
- 組合
- 唐戸市場青果組合
- 唐戸市場食料甘藷組合
- 下関沿岸漁業生産者
- 事業協同組合
- 唐戸市場関連業者組合
- 唐戸市場業者連合協
- 同組合
- 下関唐戸魚市場(株)
- 下関唐戸魚市場仲協
- 同組合
- 唐戸市場おかみさん会
- 下関唐戸鮮魚共同組合
- (株)Wホールディングス
- Apaman Net
- work(株)
- 山口合同ガス(株)
- 全国ファミリー協同組合
- マルヒ子口(株)下関工場
- 日本鏡餅組合事務局
- (株)寿工務店
- ほしとつと
- 日本出版販売(株)
- 下関市園芸センター
- リビングデザインサービス
- 鈴木南科
- (有)三浦商会
- 株式会社ゆづり銀行
- 西日本高速道路メン
- テナンス中国(株)下関
- 保全事務所
- 西日本高速道路路メン
- テナンス九州(株)
- 朝鮮総聯下関支部
- (株)日本教文社
- 山口県下関南高校教育
- 後援会
- (JRC)下関地区
- 青少年赤十字
- 毎日新聞西部社会
- 事業団
- 常関寺
- Pure Heart
- 特急はんや
- (株)表田工事店
- (有)玉川文具
- (株)蟹屋
- (株)ものばんく
- サンシード(株)
- J.R.C.S(株)
- 日本ベビーフード協議会
- (株)エストラスト
- N.P.O法人ふるさと
- 山口経営フォーラム
- かへの集い
- 角倉町自治会
- 三井化学労働組合山
- 口支部下関分会
- 下関市成人の日記念
- 事業実行委員会
- 宇部魚市場(株)
- 谷村 義彦
- 盛満 俊豪
- 鬼頭 征一
- 大平千代子
- 西村ひとみ
- 松浦 宗二
- 土谷 基明
- 咲賀 好治
- 河野 清志
- 横田 和子
- 小見山明久
- 戸倉 淳
- 石川 啓
- 太刀山逸男
- 白石 家門
- 白石 貴房
- 羽藤 和子
- 大橋 実
- 柴田日登美
- 藤田 正実
- 占野 勝
- 山口洋一郎
- 宅野 和男
- 小池 和女
- 高下 章
- 秋枝 研二
- 坂田 謙祐
- 山下 紀昭
- 河野 實
- 尾之上寧生
- 塩屋 康子
- 河野 恭二
- 藤田 清
- 古田 光雄
- 坂本 京子
- 咲賀 和雄
- 咲賀 和代子
- 咲賀 洋輝
- 柳澤 雅史
- 村田 耕治
- 富田 恒彦
- 前田 周作
- 徳永 ゆか
- 平田 末江
- 小浜 忠
- 田口 諭美
- 内藤 幸子
- ウエノトミヨ
- 長谷川久子
- 口羽 政徳
- 佐藤 文
- 大和 有子
- 藤井 昭文
- 前田 豊
- 松尾 淑子
- 藤井 由佳
- 長岡 育恵
- 川西 慶子
- 大江 正人
- 下本 一公
- 岩下 勝文
- 中村 精治
- 脇田 良明
- 西村 一男
- 榎木 勝徳
- 石樵 孝江
- 武田
- 上野
- 下崎久美子
- 溝口 並枝
- 山本 康江
- 片岡 忠
- 門司 一徹
- 佐久間 一
- 黒津愛奈美
- 藤永 健一
- 阿部 信哉
- 今村 信哉
- 折田紗代子
- 徳永 愛美
- 小川 高志
- 小川原秀子
- 小野みさ江
- 石崎 幸亮
- 栗屋 幹雄
- 匿名





## なかべ学院 一年間のできごと

新院舎起工式

レジェンド来院

まつき祭

盆踊り

運動会

クリスマス

### 平成30年度 新入社員コメント

戸惑いだらけの日々であったが、子どもの成長を番近くで見守れてとても嬉しい。よろしく願います。  
竹原 里香

日々が学ぶことばかりでした。これからも成長していきたいです。  
伊藤 千夏

毎日新しいことだらけですが、楽しんで仕事をしています。  
岡田 瑞姫

子ども達からこの仕事の責任の重さ、やりがいをもっと感じる事ができた一年でした。  
大田愛依里

沢山の事を学べた一年でした。来年は、更に学びつつ、それをしっかり生かせるよう頑張ります。  
江島 夏穂

発達段階に応じた療育の勉強に努めていきたい。  
堀尾 周史

子どもと一緒に様々な経験をし、実りある一年にしたい。  
紫垣 実伽

来年度は、褒めることも指導するのことも両立していきたい。  
山本 彩香

子どもたちが、安心して生活を送れるように支援していきたい。  
國廣 杏奈



啓さんの知恵袋  
理事長 石川 啓

「信の一字」  
信は人と言で成り立ちます。言は嘘偽りのない神への誓いの言葉でした。このことから信の一字は、人の話す言葉がまことであることを表します。信用・信頼・信望など大事な言葉に使われます。

後援会加入のお願い  
後援会事務局

法人年会費 一口 二万円  
個人年会費 一口 千円

何口加入されてもかまいません。  
お問い合わせはなかべ学院まで

TEL 083-266-1934



### 編集後記

沈丁花の甘い香りがたぐい、春の訪れを告げていますが皆様には如何お過ごしでしょうか。

さて、多くの皆様のご支援とご協力により待ちにまつた乳児院が表紙写真の如く平屋造りの木の香漂う優しい「家」が無事、3月24日(日)竣工を迎える事が出来ました。これも一重に地域の皆様、後援会の皆様には募金など大変ご支援をいただき有難うございました。

これからも川中地区の皆様にも広報誌等を通じ後援会活動などのニーズを発信し地域交流センターの役割を果たしてまいります。

ぜひ皆様おいでませ、子育て支援の「乳児院なかべ学院」へ。  
(太刀山 逸男)